

## 福祉サービス第三評価結果の公表ガイドライン

### ① 第三者評価機関名

(福) 静岡県社会福祉協議会

### ② 施設・事業所情報

名称：たかくさ保育園	種別：保育所	
代表者氏名：村松 幹子	定員（利用人数）：90名（99名）	
所在地：焼津市坂本449-2		
TEL：054-629-5430	ホームページ： <a href="http://takakusa.org/">http://takakusa.org/</a>	
開設年月日：昭和53年1月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 東益津福祉会		
職員数	常勤職員 18名 非常勤職員 14名	
専門職員	（保育士） 14名	
	（栄養士） 2名	
	（嘱託医師） 2名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	ほふく室1、乳児室1、 保育室3、一時保育室1、 子育て支援センター1	事務室、沐浴室、調理室、園庭、 駐車場、（放課後児童クラブ併設）

### ③ 理念・基本方針

「理念」 安心と願いと笑顔をつなぐ

「基本方針」

- ・ 保育内容：入所する子どもたちの最善の利益を尊重していくこと
- ・ 家庭支援：子どもたちや保護者にとって安心して過ごせる保育環境であること
- ・ 地域支援：地域への子育て支援という社会的役割を果たすこと
- ・ 職員集団：専門性と資質の向上に努める取り組みを行うこと

### ④ 施設・事業所の特徴的な取組

「理念」や「基本方針」を職員提案し、議論を積み上げた結果、保護者や職員にとって分かりやすい文言になって、常に目標に向かう取り組みが行われています。

また、保育園内での生活の中から、子どもたちが主体的に育っていくように、2歳から4歳までの異年齢保育を行っています。

さらに、他の保育園への視察・見学を通して得られた知見などを、子どもたちにふさわしい壁面構成などを活かした、芸術性豊かな生活空間（壁画やモビール）が確保されています。

ヒヤリハットや保護者からの指摘や苦情を分析・検討し、より良い保育サービスの提供につなげ、多くのツールを利用して発信しています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成 29 年 6 月 9 日（契約日） ～ 平成 30 年 1 月 31 日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2 回（平成 17 年度）

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

「理念」「基本方針」等は、職員全体で練り上げたもので、職員全員が熟知し、理解しています。保護者に対しても「園生活のてびき」を配布して、機会あるごとに説明し、理解を得ることに努めています。

また、管理者は保育の質の向上を図るために、研修等に参加する前には課題を意識させ、研修内容を他の職員に報告させるほか、外部講師を招いての内部研修を行うなど、リーダーシップを発揮しています。

さらに、保護者からの口頭による指摘等も、苦情として捉えて対応し、改善策等を保護者に公表するほか、会計事務所による外部監査により、定期的に指導を受けるなど、運営の透明性を確保するための取組が行われています。

保育園内でその日にあった小さな出来事も、しっかり記録し、危機管理マニュアルを整備し、事故発生時の対応手順等を明示し、ヒヤリハットもデータグラフ化して分析しています。

また、「エピソード」や「つぶやき」といった項目の記述で見られるように、子どもと同じ目線に立った声かけ、子どもの思いの尊重を大切にした保育を行っています。

さらに、マークや手順の写真カードを使用し、どの子供でも分かりやすいように、方法・やり方の可視化に工夫しています。

◇改善を求められる点

人事面において、人材確保の具体的な計画及び教育・研修に関する基本方針の策定が望まれます。

また、利用者本位の福祉サービスの実施の観点から、子どものプライバシー保護及び人権擁護に関するマニュアル等の策定、並びに保育所等の変更にあたっては、保育の継続性に配慮した取り組みが望まれます。

さらに、保育の質の確保を図るために、アセスメント手法の確立が望まれます。

### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

前回の受審からすでに12年が経過しました。これまで改善してきたことが、システムとして成熟したか、更なる課題の掘り起こしによって取組を強化しなければならない点、これから取り組まねばならない点は何か、今回の受審はこれらをきちんと確認し、今後の方向性を把握することを目的としました。

調査時の詳細な確認により、弱みを弱みとして確認することができたことは、大きな成果です。詳細な着眼点を一つ一つ、確認していくことは時として重いことではありましたが、これがあることで改善の方向が見えました。次年度の事業計画を具体的なものにしていく時期を迎えています。この評価はまさに今年度の振り返りでもあり、改善に向けて進むサイクルが再び動き出しています。保育園としての質の向上は、社会福祉施設としての責務です。大きな力を与えていただきました。

### ⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

## 第三者評価結果〔保育所〕

※すべての評価細目について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

a 評価…よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態

b 評価…aに至らない状況、多くの施設・事業所の状態、「a」に向けた取組みの余地がある状態

c 評価…b以上の取組みとなることを期待する状態

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

### 保育所版共通評価基準ガイドライン

#### 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

##### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
<コメント> 理念や基本方針をパンフレットやホームページで示すほか、会議や説明会ではパワーポイントを用いて説明し、利用者の家庭に「園生活のてびき」を配布するなど、職員や保護者への周知が図られている。		

##### I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b
<コメント> 保育所が位置する地域の特徴や、利用者の推移や利用率、保育コストの推移は把握しているが、分析が十分でない。		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b
<コメント> 経営環境や経営状況の改善すべき課題等について、役員間では共有されているが、職員へ周知されておらず、十分ではない。		

##### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
<コメント> 中・長期計画は具体的な内容で作成されているが、収支計画が策定されていない。		

5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>中・長期は計画に基づき作成されているが、前年度の事業報告での課題等が次年度の事業計画に反映されておらず、内容が十分でない。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>事業計画はクラス部会で意見を聞くなど、職員の参画のもとで作成され、経営書で職員に周知しているが、実施状況の把握や評価の時期等が定められていない。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>前年度末の保育修了式や年度当初の父母の会の総会において、パワーポイントにより周知を図るほか、「園生活のてびき」を保護者に配布するなど、事業計画の周知方法や説明等が工夫されている。</p>		

#### I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>第三者評価を積極的に受けるほか、ヒヤリハットや事故報告、苦情を基に保育の質の向上に努めているが、定期的な自己評価が行われていない。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>前回受けた第三者評価で指摘された事項で、改善に取組まれていない事項があるなど、課題は明確にしているが、改善策や改善計画を立てて実施するまでに至っていない。</p>		

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>施設長の役割や責任を職務分掌表等で明らかにし、経営書に記載し職員に配布しているが、理解</p>		

されるための取組が十分ではない。		
11	II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>全国組織の役員を行っていることなどから、遵守すべき法令等を正しく理解するための取組は行っているが、職員に対しての取組が十分でない。</p>		
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育の質の向上のため、研修等に課題を意識させて参加させ、他の職員に還元させるほか、必要に応じて外部講師を招いての内部研修を行うなど、取組に十分な指導力を発揮している。</p>		
13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>パソコンや情報システムの導入を積極的に行い、通常事務処理の改善を図る外、書類の整理やパンフレットの作成及び写真販売を外部委託するなど経営改善に努めている。</p>		

## II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>既に採用されている職員の育成については積極的に行っているが、具体的な計画が確立していない。</p>		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「期待される職員像等」が明確にされておらず、人事基準が定められていない。</p>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員の就業状況や意向を、年に1回の面接で定期的に把握しているが、職員の悩み相談窓口はなく、総合的な福利厚生が実施されていない。</p>		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員面接により、職員ひとり一人が設定した目標を確認し、目標に向けて研修などを受講させて</p>		

いるが、「期待される職員像」が明確にされていないなど、十分ではない。		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>研修受講計画があり職員の教育・研修は積極的に受講させているが、「期待される職員像」が明示されておらず、教育・研修に関する基本方針や計画が策定されていない。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>個別職員の知識や資格取得状況を把握しており、外部研修の情報を提供し、職員の希望する教育・研修に参加できる機会が確保されている。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「保育実習受入れマニュアル」は整備されているが、計画的に学ぶためのプログラムが策定されておらず、積極的な取組には至っていない。</p>		

### Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育所の事業や財務に関する情報等を、ホームページ等で公表している。また、苦情についても、不快として言われたことも含めて、年に4回、対応を公表するなど、運営の透明性の確保に努めている。</p>		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育所における事務、経理等に関する事務分掌と権限と責任を明確にし、職員に周知するとともに、会計事務所による外部監査による指導を、毎月受けるなど、適切な取組が行われている。</p>		

### Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもたちの絵を用いたポスターを地域に掲示して、夏祭りに地域の人を招くほか、毎年、3月</p>		

に作品展を開くなど、地域との交流を図っているが、地域の行事への参加がほとんどないなど、十分ではない。		
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にした体制を確立している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>ボランティアの受け入れに関する基本姿勢を明文化したマニュアルが策定されており、地域の体験教室の受け入れ体制も整備されている。</p>		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員全員に配布する「経営書」に関係機関のネットワークを示し、職員への周知を図るほか、要保護児童対策地域協議会へ参画し、関係機関との連携が適切に行われている。</p>		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>地域の子育て相談を行うほか、地域への駐車場の貸出しや、災害時の福祉避難所の登録などを行っているが、地域住民や行政等と、その連携・協力内容の確認は行っておらず十分ではない。</p>		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子育て支援センターによる育児相談や一時保育などの事業を通して、地域の福祉ニーズを把握しているが、これに基づく公益的な事業・活動は行われていない。</p>		

## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもを尊重した保育については明示し、共通理解を図るための取組を行っているが、「子どもの人権」に関わる方針等が示されていない。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「人権擁護のためのチェックリスト」により、子どものプライバシー保護や人権擁護に配慮した保育を行っているが、規程・マニュアル等が整備されていない。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		



30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>パンフレットの配布の外、ホームページにより、保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。また、施設見学や保育体験も行っている。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育所の生活や行事等について分かりやすく記載した「保育のてびき」を用いて説明し、理解して頂いた上で「同意書」の提出を受け、保管している。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育所等の変更に関わる、保育の継続性への配慮が行われていない。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもの満足の把握に努めているが、検討会議や担当者の設置がなく、保護者会の記録がないなど仕組みが整備されていない。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>苦情解決のマニュアルを整備して、保護者への説明やアンケートを実施している。記録を適切に保管し、ホームページに公表もしている。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子育て支援マニュアルを整備しているが、保護者への配布はなく、掲示物もないなど保護者に伝えるための取組みが十分でない。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保護者の意見を積極的に把握しているが、相談に係る対応手順を定めておらず十分でない。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a

<p>&lt;コメント&gt; 小さいことも、しっかり記録している。危機管理マニュアルが整備され、責任者や事故発生時の対応手順等を明示している。ヒヤリハットをデータグラフ化して分析している。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt; マニュアルを整備し、手順を標準化している。専門業者による衛生管理の研修を実施している。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt; マニュアルを整備して、訓練計画に基づいた訓練を定期的を実施し、備蓄リストも作成しているが、保育を継続するための対策（BCP）は、講じてない。</p>		

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	b
<p>&lt;コメント&gt; 「職務内容マニュアル」が作成されているが、その文書に「子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢」を明示していない。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	c
<p>&lt;コメント&gt; 仕組みを定めていない。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	c
<p>&lt;コメント&gt; アセスメント手法を確立していない。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	c
<p>&lt;コメント&gt; 仕組みを定めていない。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p>		

「エピソード記録」を導入し、日誌を通して園長が細かくチェックをしている。職員会や研修等で情報共有しているが、記録要領等の作成はなく、仕組みを整備していない。		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>管理規程や個人情報保護規程を整備し、記録管理責任者を設置しているが、職員に対する教育や研修、保護者等への説明がない。</p>		

## 保育所版内容評価基準ガイドライン

### 評価対象 A-1 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 保育課程の編成		
A①	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育課程は、理念や保育方針等に基づき子どもの発達過程などに考慮して編成している。職員が参画し編成し、定期的に評価をしている。</p>		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A②	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>他保育園の視察・見学を通して得られた知見等を、壁面構成等に生かして、芸術性豊かな生活空間（壁画やモビール）が確保されている。家具や遊具の素材等に工夫がある。</p>		
A③	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>記録の「エピソード」や「つぶやき」という項目の記述で見られるように、子どもと同じ目線に立った声かけ、子どもの思いの尊重を大切にした保育を行っている。</p>		
A④	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>マークや手順の写真カードを使用し、どの子供でもわかりやすいように、方法・やり方の可視化に工夫がある。</p>		
A⑤	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもが主体的に生活と遊びができるように、環境構成、見通しを持った保育を基本に、遊具を充実させ、園内で花や野菜を育て、近くのコミュニティ広場などを活用している。</p>		
A⑥	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展	a

	開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>生活と遊びへの配慮をして、家庭との連携を密にし、応答的な関わりに基づく愛着関係の構築を基本とした保育を行っている。</p>		
A⑦	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>自我の育ちを受け止める適切な関わりをして、家庭との連携を密にし、応答的な関わりに基づく愛着関係の構築を基本とした保育を行っている。</p>		
A⑧	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>集団の中で安定し過ごすことを目指し、達成感を感じられるような働きかけをしながら、応答的な関わりに基づく愛着関係の構築を基本とした保育を行っている。</p>		
A⑨	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>外部の障がい児保育部会研修を定期的に受け、それらの知識を基に巡回相談等の資料作成を行っているが、保護者に対し障がい保育に関する情報発信を行っていない。</p>		
A⑩	A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>延長時の給食やおやつはないが、3時半のおやつを多くし、担当の職員が残るようにするなど、保護者との連携にも配慮しているが、指導計画等に位置づけをしていない。</p>		
A⑪	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>個別面談を実施し小学校の交流を通して、見通しがもてるよう機会を設け、職員が参画して保育要領を作成しているが、計画の中に、小学校の連携等の事項が記載されていない。</p>		
A-1-(3) 健康管理		
A⑫	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>記録を通して日々の健康を的確に把握し、毎月、「健康安全だより」を発行している。SIDSについては、入園時の保護者への説明をし、日々の睡眠チェックを行っている。</p>		
A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>結果が記録され、それを職員に周知して保護者にも伝え、次年の保健計画等に反映させ、囁</p>		

託医や医療機関と連携を図っている。		
A14	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>食物アレルギー対応マニュアルに基づき徹底した管理を行い、対象児には代替献立を用意し、研修にも参加して、保護者へ必要な情報発信している。</p>		
A-1-(4) 食事		
A15	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保護者は保育士体験の場で試食ができ、食事のサンプル掲示もされている。保育計画に位置付けられており、食事への工夫がされている。</p>		
A16	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>栄養士と食の内容を検討し、温かいものは温かく、冷たいものは冷たく食べられるような管理をし、チェックリストもあるが、求められる衛生管理を目的としたマニュアル等は整備していない。</p>		

## 評価対象 A-2 子育て支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
A17	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>連絡ノートで家庭との情報共有を行い、送迎時のやりとりや面談で保護者と連携する機会を設けているが、記録しなければならない基準を明確にしたり、内容を職員間で標準化することには取組まれていない。</p>		
A-2-(2) 保護者等の支援		
A18	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子育て支援マニュアルに沿って個別相談の受け入れや情報の提供を行い、子育て支援リーダーなどの専門保育士を設置しているが、相談に応じる体制整備が十分でない。</p>		
A19	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「虐待対応マニュアル」を整備し、子どもの様子から家庭での養育の状況の把握に努め、関係機関との連携も図り、研修も実施している。</p>		

### 評価対象 A-3 保育の質の向上

		第三者評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		
A20	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>日誌やエピソード、保育計画等に自己評価を記載し、それを園内研修等で話し合い、意識の統一を行っている。</p>		